

関東支部研究発表会付随行事Ⅱ

パネルディスカッション:現状のコンクリート品質管理はこれでよいのか

「現状のコンクリート品質管理はこれでよいのか」を主題に、建物に供されるコンクリートの品質管理の課題についてパネルディスカッション（PD）を行います。

主催：日本建築学会関東支部材料施工専門研究委員会

日時：2009年3月6日（金）15:00-18:00（時間確定！）

会場：建築会館ホール（定員250名 当日先着順）

参加費（テキスト代含む）

会員・後援団体 2,500円、準会員・学生 1,500円、登録メンバー・会員外 3,500円

参考資料（上記テキストとは別です）

2007年度シンポジウム資料 建築におけるコンクリート品質管理の現状と課題，2008.3

*当日販売致します（1,000円）

司会：今本 啓一（東京理科大学）

副司会：木村 博（清水建設）

記録：若林信太郎（銭高組）

杉山 英祐（前田建設工業）

1.主旨説明

道正 泰弘（東京電力） 15:00-15:10

2.基調講演

～先人に学ぶ～

長期間経過したRC造建築物の品質管理

依田 彰彦（足利工業大学名誉教授） 15:10-15:40

土木構造物の品質管理

河井 徹（清水建設） 15:40-16:10

休憩(5分)

3.主題解説

(1)コンクリート品質に係わる試験方法の現状

棚野 博之（建築研究所） 16:15-16:27

(2)レディーミクストコンクリートの生産における現状と課題

斉藤 丈士（内山城南コンクリート工業） 16:27-16:39

(3)コンクリート受入検査の課題と今後の展望

松田 拓（三井住友建設） 16:39-16:51

(4)コンクリート工事管理の現状と課題

中田 善久（日本大学） 16:51-17:03

(5)コンクリート品質管理と耐久性

兼松 学（東京理科大学） 17:03-17:15

休憩(5分)

4.全体討議

コーディネーター：大塚 秀三（ものづくり大学），加藤 淳司（飛鳥建設） 17:20-17:50

5.提言（まとめ）

椎名 國雄（東海大学名誉教授） 17:50-18:00